



3.11

岩手県上閉伊郡大槌町にある吉里吉里地区。
井上ひさしの小説「吉里吉里人」で知られる、
漁業が盛んな約 780 世帯の集落。
震災直後は全てのライフラインが途絶え、
行政機関も壊滅した中、村の男衆が結束し
自前で吉里吉里地区災害対策本部を設置。
(現在は NPO 法人吉里吉里国を立ち上げて運営)
行方不明者の搜索を兼ねながら、がれきを撤去し
直線道路を切り開き、救援救助の為にヘリポートを作り、
倒壊したガソリンスタンドの地下タンクから、
手動で灯油やガソリンを汲み上げ燃料を確保。
これら全て一から十まで自力で行っていたのです。
震災四日後に現地入りした自衛隊や米軍の人々からは
「このような被災地は今までに見た事がない」
と驚かれたそうです。
わたしたちは吉里吉里の方々々と直に触れ合ってみて、
その人柄にも魅かれ、何とかこの方々の力になりたい
との思いを強く持ちました。



平成 23 年の夏に、吉里吉里にて出会った同志達と会を発足。
少しずつ準備を重ね、平成 24 年 1 月から活動を開始する
事になりました。焦らずこつこつと、何より中身を濃い充実
したものにするべく努めています。未知な事が多い為、つま
ずく事もあるかもしれませんが、ひとりでも多く、同じ想い
を共有する方々に出会える事ができれば、嬉しく思います。

吉里吉里国をそっと応援する会
粟田定樹・上柳美生・喜多村雄真・高橋秀昭・水野恵太



何かの役に立てるとい事は幸せな事
そっと手を差しのべたい



吉里吉里国をそっと応援する会

<http://kirikiriouen.jimdo.com/>

E-mail : sotto.ouensurukai@gmail.com

きりきりこく
吉里吉里国を

そっと

応援する会

Kirikirikoku-wo-sotto-ouen



きりきりこくを「そっと応援する会」とは？

2011年3月11日、日本は東日本大震災に見舞われ、多くの尊い人命と大切なものが沢山奪われました。

なぜ吉里吉里なのか。

もちろん多くの方を支援出来ればと思っていますが、個人レベルでどうにかできる問題ではありませんでした。そのような折、震災直後から復興の為に立ち上がり、不眠不休で邁進されている被災者の方々に会い、強く心を打たれました。

何とかこの方々の力になれないものか。

NPO法人吉里吉里国*の理念に賛同した我々は、そっと応援するために応援団を立ち上げました。地域の住民の方々が、以前にも増して心豊かな生活を取り戻されるまで…

活動計画



現地にて吉里吉里国ボランティアとして活動します。



想いを共にする人々や、現場で共に活動する仲間を募ります。



グッズの販売

そっと応援



「輪ンコイン」による取り組みで活動資金を募っています

津波で立ち枯れた杉で作った「輪ンコイン箱」

わ 輪ンコインの取り組みについて

「輪ンコイン」とは、何か少しでも力になりたいと思う方々や、ボランティア活動をしたいがどこに行けば良いのかわからなかったという方々から、輪ンコイン(500円)をいただく事で、同士の輪を広げる活動です。またこれを機に共に現場で働く事で、吉里吉里の復興の一翼を担う事ができます。輪ンコインで地域の方々と、共にあたたかい気持ちを共有できればと考えております。現地ではこれからもボランティアの力が大いに必要であり、この取り組みにて新たな同志や、現場でも共に活動出来る仲間が増えれば、このうえないと考えております。

輪ンコインの活動では

- NPO 法人吉里吉里国の運営に協力する為に寄付金を募ります。
- ボランティア活動に必要な用具の購入などに利用させていただきます。
- 吉里吉里国や地域の方々に、状況に応じた生活必需品や、ほっとひと息つけるような嗜好品などを輪ンコインを利用して贈ります。
- ホームページ上で、輪ンコインの「わ」累計・累計収支を全て公開し、銀行口座にて管理します。

輪ンコインへの参加方法

- 輪ンコイン箱の場合は備え付けのノートをご覧ください。
 - 銀行振り込みの場合は HP をご覧ください。
- 共感していただける方には、ぜひ継続してご協力をお願いいたします。

わたしたちがそっと応援する団体

きりきりこく * NPO法人 吉里吉里国

岩手県 上閉伊郡 大槌町 吉里吉里

代表：芳賀 正彦

<http://kirikirikoku.main.jp/>

NPO法人吉里吉里国の理念

津波で犠牲になられた方々に笑われない生き方を。震災が起こる前より豊かな海を取り戻す。

主な活動内容

● 復活の薪プロジェクト

2011年5月に避難所生活を送る有志が結束して、がれきから薪を生産し始めました。10キロ入り1袋を500円で販売したところ、メディアやインターネットによってこの活動が知られ、全国各地から注文が殺到しました。

当初は途方もない作業にも思いましたが、プロジェクトに賛同したボランティアが全国から大勢集まり作業に加わり、秋口には5000袋/約50トンに及び薪の出荷をやり遂げました。それは同時に50トンのがれき処理にも繋がりました。

● 復活の森プロジェクト

「震災が起こる前より豊かな海を取り戻す」

- ・ 森林整備により美しい森や海を取り戻す。
- ・ 復活の薪第二章。間伐材の有効利用として、薪に加工し販売する事で、被災者の自立・雇用の確保に繋げる。薪文化(薪利用)の復活・普及に努め、持続可能なライフスタイルの確立を目指す。
- ・ 山に優しい林業である自伐林業を普及させ、町や三陸沿岸地域の復興と連携した活動へと発展させていく事。
- ・ こどもたちを対象とした森林教室や、林業継承のための林業大学校を開催し、後継者を育成する。
- ・ 各取組を循環させ、その輪を吉里吉里地区、やがては大槌町全体まで広げ新しい町創りを行う事。

